

F1日本グランプリレースの開催契約について

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)を運営する株式会社モビリティランド(代表取締役社長:田中薫)は、Formula 1®(社長兼最高経営責任者:ステファノ・ドメニカリ氏)との合意のもと、2022年から2024年の、鈴鹿サーキットにおけるF1日本グランプリレースの開催について、契約を締結いたしました。

Formula 1® 社長兼最高経営責任者:ステファノ・ドメニカリ氏

『Formula 1が、今後さらに3年間にわたって鈴鹿サーキットでレース開催を継続することとなり、心から喜んでおります。日本は、世界中のF1ファンの心の中に特別な位置を占めています。そして鈴鹿はこれまで、F1で最も伝説的な瞬間を生み出した舞台となっており、実に11のドライバーズタイトルがここで決定しています。日本グランプリは常に、ファンの心を強くとらえる、手に汗握るドラマを披露してきました。私はFormula 1のアクションと興奮を、日本の情熱的なモータースポーツファンの皆様にご提供し続けられることにわくわくしております。』

この開催契約延長は、アジアでFormula 1を発展させるという私たちの長期的な取り組みの一環であり、モビリティランドとの良好な関係を継続できることを嬉しく思っております。この合意に向けた継続的なご尽力に対して、モビリティランドの田中薫氏および同社の方々に個人的に感謝申し上げたいと存じます。そして、プロモーターと協力し、鈴鹿でFormula 1の人気を高め、ファン層を増やすことを楽しみにしております。』

株式会社モビリティランド代表取締役社長:田中薫

『2022年以降も鈴鹿サーキットでF1日本グランプリを開催することをとても嬉しく思います。』

契約にあたり、多大なる理解を示してくれたステファノ・ドメニカリ氏をはじめとするFormula 1メンバーに、心から感謝いたします。今後も、世界中のファンに愛される鈴鹿であり続け、モータースポーツ文化の繁栄に貢献できるよう、三重県、鈴鹿市をはじめとする地域の皆様と力を合わせ、努力を続けてまいります。』

2022年には鈴鹿サーキットが開業60周年を迎えます。

2022年以降のF1日本グランプリ開催に加え、ファンの皆様に驚き、喜び、感動していただけるよう、歴史と伝統を振り返りながら、未来に向けた新たな挑戦を行ってまいりますので、是非ご期待ください。』